

2011年9月1日  
株式会社ゴーイング・ドットコム

SVG Map 標準化活動へ向けて W3C へ正式提案  
～弊社も Chromium 拡張・WebKit 改修を支援中～

2011年8月30日(米時間)、KDDI 株式会社様から、W3C に対し SVG Map 標準化に向けた提案がなされました。<http://www.w3.org/Submission/> この提案活動は、SVG 形式の地理空間情報をインターネットブラウザで描画できるよう標準仕様として組み込もうとするものです。JavaScript や CSS との相性も良く、将来、標準化が実現すれば、大規模な地理空間情報を管理するサーバに依存することなく、一般的なインターネットブラウザだけで、地理空間情報を軽快に利用できることが期待されています。

SVG は、XML ベースの画像記述言語です。Scalable Vector Graphics の略であることからわかる通り、主にベクターデータを拡大縮小できる形式です。航空写真などのビットイメージ画像だけでなく、線や面などの図形情報を数式で扱うことができます。このことから、図形やイメージに属性情報に関連させたり、品質を劣化させることなく印刷できるなど、地理空間情報は、SVG の特徴を享受できる代表的なものと考えられています。

加えて SVG は、スマートフォン上のブラウザ対応でも注目されています。現状 iPhone/iPad では利用できませんが、Android では実装されていません。ゴーイングでは、Android での標準実装にも働きかけるため Android 上での拡張にも取り組み、今回の提案に協力しています。

弊社は、今後、ファイルの軽量化や高速化の改善を推進し、Web 技術発展のために貢献してまいります。

**W3C のコメント:** <http://www.w3.org/Submission/2011/04/Comment/>

*Summary*

The Submission proposes a set of extensions to SVG, comprised of four main mechanisms:

1. A standardized coordinate mapping for establishing geographic coordinates within the SVG coordinate space;
2. A tiling mechanism to allow large graphical assets decomposed into smaller discrete sub-images to be loaded individually by the client on an as-needed basis, and recomposed client-side to form a composite view of part or all of the original image;

## ～NewsRelease～

3. A layering mechanism to allow placement of tiles above or below other tiles along the 'z' axis; and
4. Properties to define upper and lower bounds of zoom levels for controlling visibility of assets within the viewport.

Collectively, these features provide a Level of Detail solution suitable for, but not restricted to, vector mapping. Some aspects of this proposal will be of general applicability beyond the mapping use case.

(中略)

### Implementations

There has been experimental and commercial implementation of this proposal at various stages of its development, including the SVG Map Toolkit, and an open source implementation based on the WebKit browser engine, which will be announced separately.

## 弊社訳(意識含む)

### 要約

今回の提案における4つの主要なSVG拡張メカニズムは次の通りです。

1. 地理空間からSVG空間への座標変換の標準化
2. より小さいサブ画像へ分割することによって、巨大なグラフィックデータを許容できるタイル化手法
3. Z軸方向の上、または下に、タイルを配置するための重ね合わせる手法
4. 縮尺範囲に応じた表示範囲内のデータ制御を定義するプロパティ

総じてこれらのメカニズムはLevel of Detail (LOD、段階的に表示を詳細化する手段)を提供するものですが、ベクトルマッピングに限定されたものではなく、いくつかの場面ではマッピングの使用例を超えて一般的にも適用することができるでしょう。

(中略)

### 実装

この提案の様々な段階において、実験的あるいは商用の実装としてSVG Map Toolkitが発表されています。今後もWebkitブラウザエンジンをベースとしたオープンソース実装が発表される予定です。

## 【株式会社ゴーイング・ドットコム 会社概要】

社名	株式会社ゴーイング・ドットコム
所在地	〒111-0042 東京都台東区寿 2-10-13 田原町シティビル 5階
設立	2001年1月
代表者	代表取締役 本埜 孝佳

～NewsRelease～

【本件に関するお問い合わせ】

株式会社ゴーイング・ドットコム 事業創造部			
問い合わせ窓口	佐藤・舟木	Mail	info@going.co.jp
TEL/FAX	TEL 050-3533-5019 / FAX 03-3843-5019		
URL	<a href="http://www.going.co.jp/">http://www.going.co.jp/</a>		

記載された各社・団体名、製品名等は各社・団体の登録商標または商標です。

ニュースリリースに記載された製品の仕様、サービス内容、お問い合わせ先などについては、発表日現在のものです。その後予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。

以上